



平成 22 年 2 月 17 日  
NEWS RELEASE

## CSR、コンティニュー規格に対応した Bluetooth 製品を発表 コンティニュー・ヘルス・アライアンス記者説明会にて披露

CSR(英国ケンブリッジ、ロンドン証券取引所 略号:CSR.L、以下、「CSR」)は本日、CSRのシングルチップBluetooth製品である「BlueCore4-Extension」および「BlueCore5-Multimedia」がコンティニュー規格対応の製品となったことを発表します。

CSRのHealthcare SDKと共に提供されるこれらの製品は、OEMがBluetooth搭載のコンティニュー規格準拠製品の開発を容易に実現し、市場投入までの期間の短縮ができるようサポートします。CSRは、ワイヤレスヘルスケア分野におけるリーダーとして、本日東京で開催されるコンティニュー・ヘルス・アライアンスの記者説明会にて、Bluetooth Health Device Profileを使用したヘルスケア・アプリケーションのデモンストレーションを実施します。

CSRのBlueCore4-Externalは、オンチップ・マイクロコントローラ、eSCOと外部フラッシュメモリ・インターフェースを、わずか8×8mm BGAパッケージ、6×6mm VFBGAパッケージに搭載した包括的なBluetoothソリューションです。モノラル/ステレオヘッドホン用のBlueCore5-Multimediaは、-95dBの優れたオーディオ品質を誇る統合型ステレオCODECおよびDSPを内蔵し、わずか8×8mmのTFBGAパッケージにて提供されます。両製品は、Bluetooth v2.1 + EDRに準拠しており、ヘルスケア・アプリケーションにて使用できます。

CSRは、長年にわたり医療機器テクノロジーの分野に関与してきました。CSRは、2008年4月のContinua Health Allianceイベントにおいて、世界初となるBluetooth low energyのデモンストレーションを実施いたしました。また、CSRは、2008年7月にBluetooth SIG Medical Device Working Groupに対して、ハンドセットに内蔵されたBluetooth low energy のデモンストレーションを実施いたしました。さらに、CSRは最近、SIGが新たに導入した低消費電力規格である「Bluetooth v4.0」にCSRのBlueCore7製品を即座に認定させたことにより、Bluetooth low energy テクノロジーにおけるリーダーシップを示しました。

CSRのRobin Heydonは同アライアンスのメンバーであり、Bluetooth SIG Ultra-Low Power Working Groupの共同委員長として、現在と今後のヘルスケア・デバイス規格の策定において中心的な役割を担っていきます。

CSR、グローバル・スタンダード・チーム担当コンサルタント、Robin Heydonのコメント：  
「CSRのテクノロジーは、サイズ、コスト、効率性の面で業界をリードします。BlueCore4-ExternalやBlueCore5-Multimedia、CSR Healthcare SDKがヘルスケア・デバイス開発メーカーによって導入される現在、当社は、CSR製品を搭載したさらに多くの革新的なBluetooth対応のヘルスケア製品が登場すると予想します。今回の素晴らしいイベントでデモンストレーションを実施する機会をくださったコンティニュー・ヘルス・アライアンスに感謝いたします」

CSR オーディオ コンシューマー ビジネスユニット コンシューマ マーケティング担当、Li Lei Tsienのコメント：  
「CSRは長年にわたりコンティニュー・ヘルス・アライアンスと深く関わり、同アライアンスに対して多大な貢献をし、また同アライアンスのヘルスケア・アプリケーションでのBluetooth low energy 規格の策定において中心的な役割を担ってきました」

CSR について：  
CSRは、多機能コネクティビティとロケーション・プラットフォームを開発・提供するリーディング企業です。CSRのテクノロジー・ポートフォリオには、完全統合型ラジオ、ベースバンド、マイクロコントローラ・エレメントを含むシリコン・プラットフォームの開発を可能にする、Bluetooth、GPS、FM、Wi-Fi(IEEE802.11)、UWB、NFC、その他のコネクティビティ

技術が含まれます。CSRのConnectivity Centreは、複合的なワイヤレス・コネクティビティと位置情報検出処理技術とを合理的に統合することで、主なモバイル・デバイスにおけるユーザ体験を向上させるよう設計されています。CSRのロケーション・プラットフォームは、量産向けコンシューマ・モバイル・デバイスおよび汎用アプリケーション用のワイヤレス・コネクティビティおよびマルチメディア機能によって補完されています。

主要なコンシューマ製品開発企業は、携帯電話、カーナビ、テレマティクス・システム、ポータブルナビ(PND)、ワイヤレス・ヘッドセット、モバイル・コンピュータ、モバイル・インターネット・デバイス、GPS対応リクリエーション・デバイス、デジタルカメラ、携帯ゲーム機器、その他の幅広い個人用・商用トラッキング・アプリケーションなど、幅広いコンシューマ・モバイル・デバイスにCSRの技術を採用しています。

\* 本文に記載されたすべてのブランド名とその商品名はそれぞれ帰属者の登録商標または商標です。

<本件に関する問い合わせ先>

シーエスアール株式会社  
河原 高  
E - mail: [takashi.kawahara@csr.com](mailto:takashi.kawahara@csr.com)

ジェイスピン Inc.  
CSR 広報担当 清水  
Tel: 03-5269-1038  
E-mail: [csr@jspin.co.jp](mailto:csr@jspin.co.jp)